

会員企業紹介

訪問  
インタビュー

群馬同友会 代表理事就任



(株)プランニング

代表取締役 町田 英之 氏 (前橋支部所属)

▼今月号から「会員企業紹介」がリニューアルしました。第一回目は、四月二十日の定時総会にて、代表理事に就任した(株)プランニング・町田社長のもとへ伺いました。

▼会社概要を教えてください。  
当社は一九八一年に創業しました。今年で丸四十年、IT企業としては歴史ある会社となります。主に企業向けソフトウェアのオーダーメイド開発を行っており、その時代に合わせたインフラや技術、セキュリティなどを提供し続けております。

▼自己紹介をお願いします。  
先代社長の長男として生まれ、二十三歳で同社へ入社し、二十六年になります。事業を引き継いでからは十二年になります。その時にやるべき事、できる事をコツコツやってきたつもりですが、あつという間に時が過ぎていきます。公私ともに残りの人生でやりたい事はやり、後悔のない生き方をしたいと考えています。  
最近の趣味はバイクです。限りある時間を自分の好きな事に使っていきたいです。

▼採用活動に力を入れている印象がありますが？

私が代表取締役になってから、中途採用の募集はしていません。決して大量に採用している訳ではないですが、新卒採用に絞ることで偏りのない人員構成ができます。そして毎年採用を続けることで、新入社員も一年後には必ず先輩社員になり、人間的にも技術的にも成長しています。

▼変化のスピードが早い業界ですがその対応は？

その時代のスピードに合わせて走る事です。速くても遅くてもいけません。新しい事を吸収していくのは大変ですが、プロとしての自覚を持って勉強し続けるしかありません。



▼同友会は役に立っていますか？

役立っています。同友会だけでなく学んでいますので、どの知識が同友会のものとは言えませんが、すべての情報が自分の血肉となり会社経営に反映されていると思います。

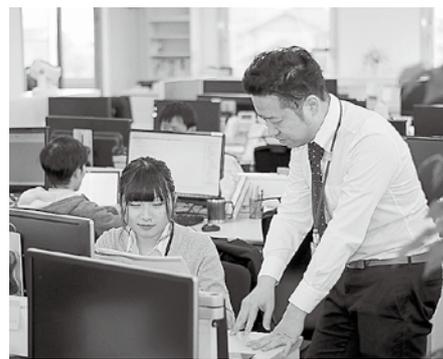
▼今年度から代表理事ですが、何かメッセージはありますか？

私でいいんでしょうか？という感覚です。優秀な経営者さんがたくさんいる中で、自分が代表理事になるのは違和感があります。しかし会社でも、優秀な人間が社長をやっているわけではないので、そこは楽観的に考えるようにしています。

代表理事として群馬同友会の全体最適を考えた舵取りを心がけますが、個々の活動毎に見た場合に偏った内容になる事もあるでしょう。参加し続けることで、入会して良かったと実感できる会にしていきたいです。

▼会社、同友会それぞれの展望などあれば教えてください。

会社で言うと、六十五歳で引退を考えていますので、あと十六年です。それまでに社員を



三〇名以上増やし、後継者を育て新しい社屋を建てるか、移転するなど、更なる未来の道筋を立ててから勇退する計画を進めます。

同友会に関しては、今は活動の枝葉に対し幹がやや細かいように感じています。中同協を含む同友会のセオリーを学び直して軸を決め、それから群馬同友会に合ったアレンジやオリジナルリティを加えていきたいと思っています。

■取材の様子や紙面に載せられなかった質問なども、群馬同友会のHPに掲載予定。顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中！

所在地 前橋市ぬで島町161-5  
TEL 027-290-3232  
URL https://www.pri.co.jp/

同友ぐんま 5月号 会員企業紹介「訪問インタビュー」

広報委員の取材の様子や紙面に載せられなかったQ&Aをご紹介します！



【Q：広報委員／A：町田社長】

Q：代表理事になった経緯は？

A：いきさつというわけではないが、山岸さんが代表理事になった頃に「次やってね」というような感じで言われてはいました。ただ、個人的には次というよりは次の次くらいだと思っていた。いま部会長（経営労働、共育）をやっている戸塚さん、吉池さんあたりが代表理事になってからの話だと思っていたところに、急にバトンが回ってきた感じ。その辺りの違和感はちょっと感じました。



Q：会歴は長いですね？

A：かれこれ 20 年。20 代から入会しています。途中、2~3 年の幽霊会員の時期はありました（笑）。その後、社内で役員になり現場から離れたことで、時間が取れるようになって同友会に出るようになったら「運営委員やりなよ」と声がかかった。そこから同友会活動が増えていった。活動が増えたら「支部長やりなよ」と役が回ってきた。真面目に参加するとそうなる（笑）。

Q：会社はいま何名くらい？

A：正社員が 40 名、パート・アルバイト入れて 50 名弱。このところ 50 名弱で推移している。そこを越えるならもっと一気に越えないと負担ばかり増えてしまう。ここから先は年に 3~4 人採用して、10 年後には 30 人増くらいの計算。ただ、その間には定年退職も当然出てくるだろうから 15 年で純増 30 人が現実的な数字になってくる。もしかしたら早まるかもしれない。そんな考えもあって駐車場を拡げたという一面もある。

Q：社員の平均年齢は？

A：35~6 歳。毎年採用することで、世代にばらつきが出ないメリットがある。毎年新しい人が入ってきて誰かが定年退職していく、というサイクルができあがるのが望ましい。コレができないと持続可能な経営ができない。働き盛りがいるのはいいが、それは一瞬のこと。若い世代から上の世代までまんべんなくいる状態。それが一旦回り出せばたぶんずっと維持できる。

Q：同友会で得た一番のものは？

A：先輩経営者の中にも色々な考え方がいらっしやるので、良いところ取りじゃないが、

色々な考え方がある中に、きれい事じゃない経営や本質があると思う。建前と本音を知る、そういうことがわかってくると、本を読んだりしてもコレは違うな、とか思うようになる。情報は取捨選択、一旦は入れるけどそれが違うと思えば捨てる。真逆の意見を書いている本を両方読んで、自分はどうなんだと、自分の考えをまとめる訓練とも思える。

Q：社員がずっと働けるとなると、寿事などあった場合社長の時間が増えたりするのでは？

A：それは増えるんじゃないかな。今はそんなにたくさんはないが、おめでたいことなら良い（笑）。プライベートな時間でも同友会の中のバイク乗りと情報交換したり、一緒に走りに行ったりもする。

Q：アプリの開発はどれくらいの費用でできますか？

A：質問がざっくりすぎる…。サロン系の予約ができて、メニューが載せられて・・・となると 100 万円では難しい。ちょっとした“システム”となると数百万はかかる。アプリの中で面倒なのはリリースがめんどくさい。…中略…アップル、アンドロイドそれぞれ作る必要がある。両方まかなえるハイブリッド言語などもあるが、出来ることが限られる。…略。

Q：町田さんは落ち込むことがありますか？

A：ありますよ。一回落ち込むと意外とぐずぐず。



Q：プランニングさんの持続可能な取り組み、準備はありますか？

A：最近言われるSDGsとなると、少し規模が大きすぎる。地球規模の話。一企業が何か出来るかという、雇用を継続した上で例えば備品を買うときに環境に優しいものを買うとか、そういうレベルになってしまう。特別にがんばるぞ！ということはないが、出来ることはやるというスタンス。

Q：SDGsに当てはまるような社風に感じますが？

A：そもそも「永続」が会社の目的と社員には言っている。利益を出すことも重要だが、なぜ利益が必要かと言えば「永続するための原資」が必要だから。会社を大きくしようとは思っていない。ただ、永続を考えたときに“今”は 100 人規模まで増やすことが必要だと思っている。永続するために人が増えることはあるけども、会社を大きくしようとは思っていない。

